

# Market Watching

市場レポート

テーマ: Weekly Market Report (2005年8月29日～)

発表日: 2005年8月29日 (月)

～米マインド&lt;ISM+雇用統計?～

(No. MW-23)

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 鷹峰 義清 (03-5221-4521)

## 今週のスケジュール

### 今週の経済指標・イベント・注目材料

発表日	国	指標・イベント	注目度	コンセンサス	レンジ	前回	備考
8月29日(月)	欧州	英祝日					
8月30日(火)	日本	完全失業率(7月)		4.2%	4.1~4.4%	4.2%	
		家計調査(勤労者・7月)	★	+0.9%	▲0.6~+2.5%	+0.1%	前年比
	米国	消費者信頼感(8月)	★★★	102.1	98.5~105.0	103.2	
8月31日(水)	日本	FOMC議事録(8/9分)	★				
		鉱工業生産(7月)	★★★	▲0.5%	▲1.1~+0.5%	+1.6%	前月比
		住宅着工(7月)		120.0	118.5~123.0	122.2	万戸
	欧州	毎月勤労統計(7月)・名目賃金				+1.5%	前年比
		欧消費者物価(8月)	★	+2.1%	+2.1~+2.3%	+2.2%	前年比
	米国	独失業率(8月)		11.6%	11.4~11.6%	11.6%	季調値
		実質GDP(4~6月期・改定値)	★	+3.4%	+2.7~+3.6%	+3.4%	前期比年率
シカゴ地区PMI(8月)	★	60.9	58.0~65.5	63.5			
9月1日(木)	日本	10年債入札					
	米国	ISM製造業景気指数(8月)	★★★	57.2	54.0~61.9	56.6	
		個人支出(7月)		+1.0%	+0.7~+1.3%	+0.8%	前月比
		PCEデフレーター(7月)・コア	★★	+1.9%	+1.8~+2.0%	+1.9%	前年比
	自動車販売台数(8月)		1,730	1,650~1,800	2,090	万台・年率	
欧州	E C B理事会		2.00%	2.00~2.00%	2.00%	前回据え置き	
9月2日(金)	欧州	欧製造業PMI(8月)	★★	51.0	50.5~51.7	50.8	
	日本	マネタリーベース(8月)		+1.2%	+0.8~+1.5%	+1.5%	前年比
	欧州	欧生産者物価(7月)	★	+0.5%	+0.2~+0.8%	+0.5%	前月比
	米国	雇用統計・非農業就業者数(8月)	★★★	+195	+145~+225	+207	千人・前月差
		失業率(8月)	★	5.0%	4.9~5.1%	5.0%	
時間あたり賃金(8月)	★★	+0.2%	+0.1~+0.3%	+0.4%	前月比		

(注) 市場コンセンサス、予測レンジは各種ベンダー調査に基づく  
注目度は筆者

## 今週の注目点

今週は、日米欧で重要経済指標の発表が相次ぐ。米国では消費者信頼感(8/30)、ISM製造業(9/1)、雇用統計(9/2)、日本では鉱工業生産(8/31)、欧州では製造業PMI(9/1)が注目される。

欧米の製造業景況感、そして日本の鉱工業生産は、それぞれ世界経済が04年以降の循環的減速局面から脱しつつあることを再確認する内容になると予想されている。一方で、原油価格、及びそれに伴うガソリン価格の上昇を背景に、米消費者マインドは前月から低下すると見込まれている(先に発表されているミンガン大消費者センチメント指数は96.5→92.7へ低下)。原油価格の上昇傾向は依然続いており、特に8月に入ってからはやや上昇ペースが加速した。この影響によって、企業や消費者のコストが増え、需要が減退するとの懸念は高い。しかし、特に現状に対する消費者マインドの判断水準は引き続き高水準を保っているほか、(週末発表の米雇用統計でも確認される見込みだが)雇用・所得環境は堅調だ。エネルギーコストの増大にもかかわらず企業収益は好調で、今後は昨年減速からの反動もあって増益幅は拡大が予想されている。日本企業も同様で、原材料コストの上昇を製品価格に転嫁しづらい状況が続いているが、それでもなお全体としては増益傾向を保っている。

マーケットは世界的な景気回復気運の高まりを背景にした株高の勢いも一服し、足下では原油価格の上昇などによる需要減懸念から債券相場が持ち直す格好となっている。今週のマーケットは、減速懸念を消費者マインドや雇用統計ではかり、回復基調の力強さ度合いを企業の景況感調査や生産指数で見極める形となる。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

筆者は、両者の綱引きは循環要因に軍配が上がると予想している。確かに米ガソリン価格は上昇しているものの、一方で雇用環境も堅調であり、消費マインドの押し上げ要因となっている。一方で循環面に関しては、特に持ち直し初期には予想を上回る加速感を示すことが経験的に多い。注目材料として挙げていないが、日本においては家計調査や小売業売上高も発表され、消費が堅調に拡大している姿が浮き彫りになる公算が大きい。原油価格が今週さらに上昇ペースを加速させるようならば話は変わってこようが、米国内での製品在庫率が必ずしも低下傾向を辿っているわけではないことなどを勘案すれば、このところ原油価格を押し上げている供給サイドの一時的な不安要因が払拭すれば、多少なりとも水準調整が起きる可能性が高いと判断される。世界的にマーケットは景気回復をある程度織り込んでいるため、株や金利が際立った上昇を見せるとは見込み難いものの、原油価格上昇による景気減速シナリオにベットするような流れは一服するのではないか。

**【債券市場】**：図表は3～4ページ

先週は、前週に引き続き長期金利は世界的に低下した一方、短期金利は主要国では上昇した。米国では、原油価格の上昇などを背景に長期金利中心に低下基調を辿ったものの、週末のグリーンSPANFRB議長の講演で、利上げはまだまだ継続するとの見方が強まり、短期金利中心に上昇に転じた。今週は、ISMや雇用統計などに注目が集まる。特に消費者マインドが低下していることもあって、循環的な景気回復の動きが継続的なものなのかどうかには関心が集まろう。週末の雇用統計まで含めれば、米景気腰折れリスクは小さいとの判断は後退し、金利は強含むと見込まれる。ただし、原油価格上昇ペース加速なら長短スプレッドはさらに縮小、米国では逆転の可能性も。

**【株式市場】**：図表は5ページ

先週は、日本や一部エマージング市場では前週末水準を上回ったものの、欧米下落。日本では、引き続き景気回復期待の高まりなどが株価上昇に繋がった。一方米国では、原油価格の上昇や消費マインドの低下、グリーンSPANFRB議長が住宅価格の上昇に警鐘を鳴らしたことなどを背景に前週末水準を下回って越週した。今週は日米欧とも注目度の高い経済指標の発表が相次ぎ、循環的な景気回復力の動向を吟味する格好。企業景況感などは引き続き好調に推移すると予想され、世界的に株価にはポジティブな内容となろう。引き続き要注意は原油価格の動向。

**【為替市場】**：図表は6ページ

先週は、日欧通貨はドルに対して上昇した一方、多くのアジア通貨は対ドルで下落した。一部米経済指標が事前予想以下にとどまったことなどから、ドルはユーロや円に対して下落した。今週は、米経済指標、特にISMと雇用統計が注目材料。主要通貨に対するドル安の動きは、先週末のグリーンSPANFRB議長のタカ派的な発言で一旦止まっている。米消費マインドは低下したが、企業の景況感や消費マインドの決定要因となる雇用環境が良ければ、総じて米景気は堅調で、FRBの利上げ余地を拡大させると捉えられよう。したがって、今週は再びドル上昇を予想。

**【商品市場】**：図表は7ページ

先週は、穀物を除き主要一次産品は上昇。原油価格は週前半は動意無くもみ合っていたが、週半ば以降はハリケーンの動きに左右された。今週も、原油価格は供給サイドの材料に振り回される展開が続こう。その他一次産品は、世界的な景気回復は一旦織り込んだ格好で、更なる好材料が出てこない限りは一段高は見込み難いとの判断は変わらず。

## [債券市場]

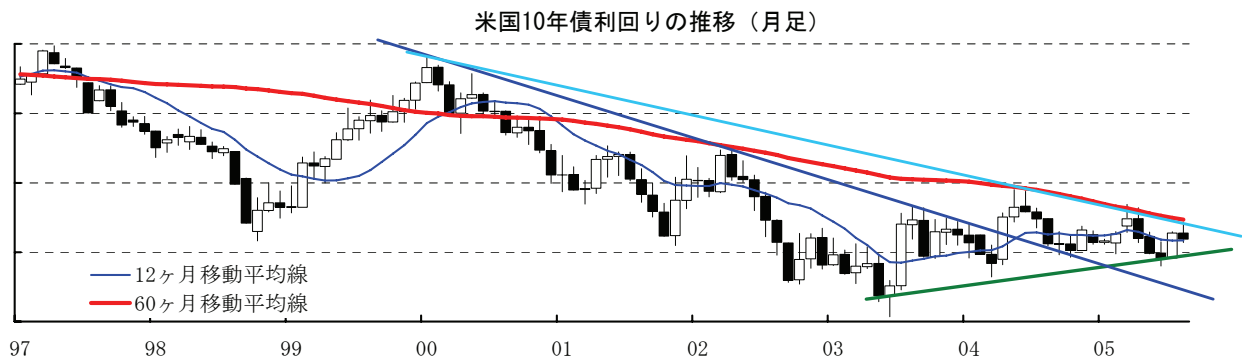
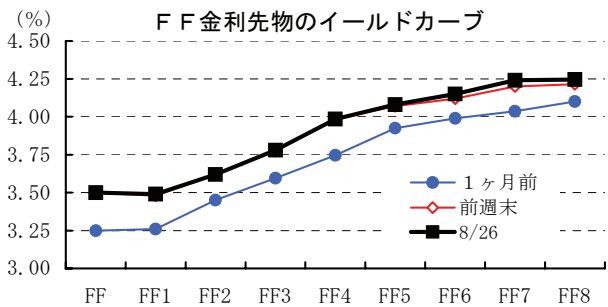
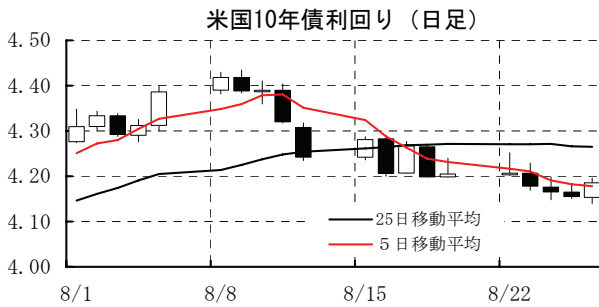
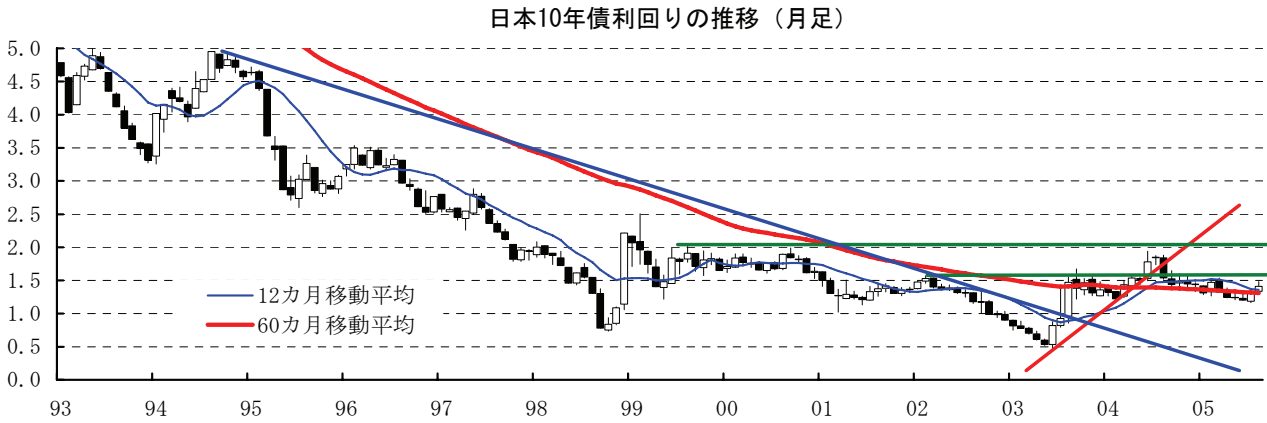
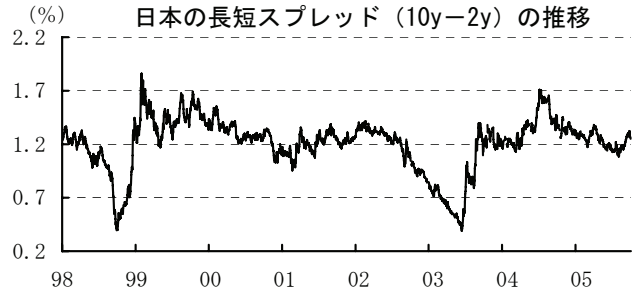
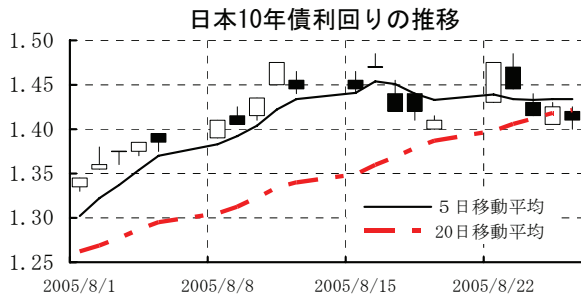
	直近値	直近までの変化率			過去の動き								
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間			
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週前	2週前	
2年	日本	0.160	▲1	+7	+2	+4	▲3	▲2	+0	▲1	+4	+3	▲2
	米国	4.066	<b>+159</b>	+14	+5	+32	+18	▲13	▲3	+1	+38	▲7	▲2
	イギリス	4.171	▲69	+5	+0	+26	▲9	▲16	▲21	▲24	+11	<b>+5</b>	▲7
	ドイツ	2.225	▲23	+1	+3	+9	+0	▲24	▲7	▲16	+23	▲2	▲12
	スイス	1.012	▲9	+12	▲4	+7	▲7	▲15	▲3	▲12	+9	+3	▲3
	スウェーデン	2.067	▲72	+18	+3	+3	▲5	▲27	▲11	▲32	+15	▲8	+1
	ポーランド	4.534	<b>▲328</b>	▲11	▲9	<b>▲89</b>	+6	▲1	▲30	<b>▲55</b>	+6	▲7	+2
	カナダ	3.094	+7	+11	▲4	+3	<b>+34</b>	▲20	<b>▲10</b>	▲14	+21	▲3	+2
	メキシコ	8.770	+4	<b>▲46</b>	<b>▲28</b>	<b>+63</b>	+32	+18	<b>▲62</b>	▲28	+2	<b>▲19</b>	▲9
	ニュージーランド	5.919	▲27	▲5	▲2	▲10	+2	▲23	▲11	▲1	<b>▲9</b>	+2	▲9
	オーストラリア	5.053	▲16	<b>▲14</b>	▲1	+23	+8	<b>▲35</b>	▲6	<b>▲4</b>	▲1	▲8	▲11
	韓国	4.356	+69	+22	<b>+18</b>	▲3	<b>▲8</b>	▲14	▲12	<b>+34</b>	+17	▲1	▲11
	シンガポール	2.020	+42	+2	+0	+24	+7	▲1	▲1	▲12	+7	+0	▲3
	タイ	3.718	+137	<b>+33</b>	▲4	+1	▲1	+1	<b>+6</b>	+11	<b>+41</b>	+4	<b>+5</b>
	インド	6.015	+55	+2	+1	▲16	+4	<b>+26</b>	▲15	+3	▲8	▲4	+3
10年	日本	1.410	▲20	+15	+0	+16	▲15	▲8	+1	<b>▲9</b>	+14	+6	▲4
	米国	4.186	▲2	▲4	▲2	+10	+22	▲28	▲13	▲16	+36	<b>▲14</b>	▲4
	イギリス	4.218	▲74	▲9	▲5	+13	▲4	▲17	▲14	▲22	+14	▲1	▲14
	ドイツ	3.150	▲92	▲9	▲5	+17	▲9	▲23	▲6	▲20	+11	▲3	▲14
	スイス	1.904	▲79	▲1	+1	▲9	+11	▲7	▲26	▲4	<b>▲2</b>	▲1	▲10
	スウェーデン	3.039	▲137	▲2	▲12	+10	▲13	▲36	▲13	▲26	+6	▲5	▲2
	ポーランド	4.878	<b>▲247</b>	▲1	▲4	<b>▲50</b>	+2	+7	▲44	<b>▲45</b>	+23	▲9	<b>+5</b>
	カナダ	3.851	▲82	▲3	▲6	+6	+5	▲18	▲17	▲22	+12	▲2	▲6
	メキシコ	9.093	▲117	<b>▲37</b>	<b>▲23</b>	<b>+55</b>	<b>+48</b>	+8	<b>▲98</b>	▲21	+4	▲12	▲16
	ニュージーランド	5.708	▲52	▲8	▲1	+3	+11	<b>▲36</b>	▲14	+3	▲1	+2	▲13
	オーストラリア	5.097	▲49	▲11	▲4	+16	+11	▲33	▲17	▲7	+2	+1	<b>▲19</b>
	韓国	5.079	<b>+91</b>	+11	+7	▲11	+2	▲16	▲27	<b>+45</b>	+23	▲7	▲9
	シンガポール	2.800	▲64	+15	<b>+11</b>	+11	+9	▲27	▲24	▲1	+0	▲5	▲9
	タイ	4.896	+12	<b>+49</b>	▲1	▲8	<b>▲17</b>	▲21	<b>▲2</b>	▲33	<b>+60</b>	<b>+14</b>	▲2
	インド	7.084	+84	+7	+1	▲17	+16	<b>+66</b>	▲33	▲13	+8	+6	▲1
長短スプレッド	日本	+125.0	▲19	+8	▲2	+12	▲12	▲6	+1	▲8	+10	+3	▲1
	米国	+12.0	▲162	▲17	▲7	▲22	+4	▲16	▲10	▲17	▲2	▲8	▲2
	イギリス	+4.7	▲5	▲14	▲5	▲13	+6	▲1	+7	+3	+4	▲6	▲6
	ドイツ	+92.5	▲68	▲10	▲8	+7	▲9	+2	+0	▲4	▲12	▲1	▲2
	スイス	+89.2	▲70	▲12	+5	▲17	+18	+8	▲22	+8	▲11	▲4	▲7
	スウェーデン	+97.2	▲65	▲20	▲15	+7	▲8	▲8	▲3	+6	▲9	+2	▲3
	ポーランド	+34.4	+81	+9	+5	+39	▲4	+9	▲14	+9	+17	▲2	+3
	カナダ	+75.7	▲89	▲14	▲2	+3	▲29	+1	▲7	▲8	▲9	+1	▲8
	メキシコ	+32.3	▲121	+9	+5	▲7	+16	▲10	▲36	+7	+2	+7	▲7
	ニュージーランド	▲21.1	▲25	▲4	+0	+13	+10	▲13	▲3	+4	+8	▲0	▲4
	オーストラリア	+4.4	▲33	+4	▲3	▲7	+3	+2	▲11	▲3	+3	+9	▲8
	韓国	+72.3	+22	▲11	▲11	▲8	+9	▲1	▲16	+12	+6	▲5	+2
	シンガポール	+78.0	▲106	+13	+11	▲13	+2	▲26	▲23	+11	▲7	▲5	▲6
	タイ	+117.8	▲125	+17	+3	▲9	▲16	▲22	▲8	▲44	+20	+10	▲8
	インド	+106.9	+29	+5	+0	▲1	+11	+40	▲18	▲16	+15	+10	▲4

(注) 「変化幅」は、直近値までの変化幅。プラスは金利の上昇を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化幅(例: 4週前=4週間前の週間変化幅、6カ月前=6カ月前の月間変化幅)を示す。

直近値の単位は%、ただし長短スプレッドはbp。直近値以外の単位はbp。

網掛け太字は当該期間で最も低下幅の大きい(上昇幅の低い)金利、太斜字は最も上昇幅の大きい(低下幅の低い)金利を示す。

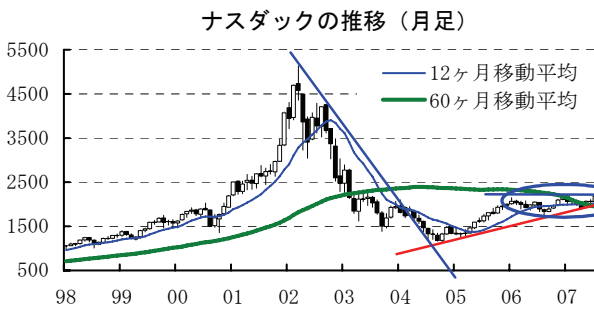
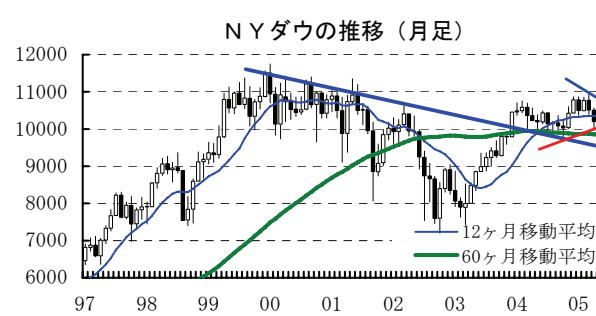
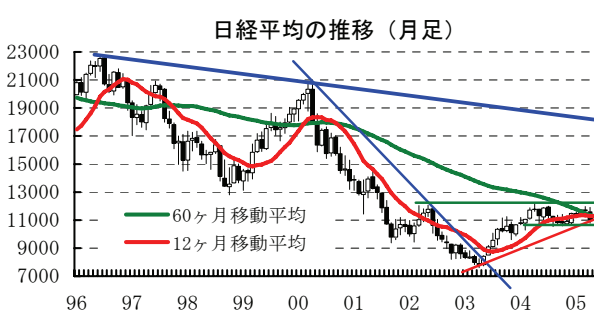
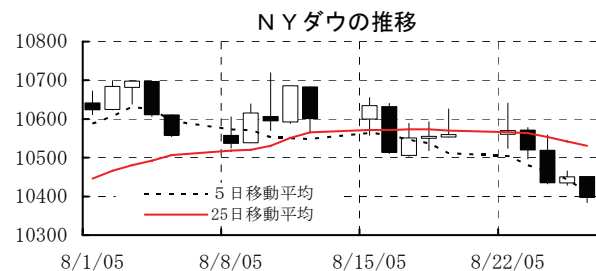
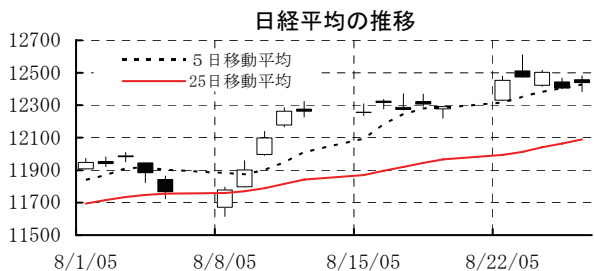


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[株式市場]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き								
		1年前～ 1月前～ 前週末～			月間				週間				
		6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前				
日本	日経平均	12439.48	+11.8	+6.0	+1.2	+3.1	▲0.6	▲5.7	+2.4	+2.7	+2.7	+4.2	+0.2
	TOPIX	1272.46	+12.6	+7.0	+1.8	+2.7	+0.4	▲4.4	+1.3	+2.9	+2.4	<b>+4.7</b>	+0.4
	日経店頭	2074.39	+12.8	+1.3	+0.4	+3.0	+1.1	+1.3	▲2.0	+3.9	+3.3	+2.0	▲1.5
米国	NYダウ	10397.29	+2.2	▲1.7	▲1.5	+2.6	▲2.4	▲3.0	+2.7	▲1.8	+3.6	+0.4	▲0.4
	S P500	1205.10	+9.0	▲2.1	▲1.2	<b>▲2.5</b>	<b>+1.9</b>	▲1.9	▲2.0	+3.0	<b>▲0.0</b>	+0.3	▲0.9
	ナスダック	2120.77	+14.5	▲2.5	▲0.7	▲0.5	▲2.6	▲3.9	+7.6	▲0.5	+6.2	▲1.0	▲1.0
	フィラデルフィア半導体	464.02	+22.0	▲2.7	+0.4	+8.2	▲4.6	<b>▲7.5</b>	<b>+11.2</b>	▲2.3	<b>+13.2</b>	▲1.8	▲0.1
イギリス	F T100	5228.10	+17.4	▲0.5	▲1.6	+2.4	▲1.5	▲1.9	+3.4	+3.0	+3.3	+0.6	▲0.6
ドイツ	D A X	4783.80	+24.8	▲1.2	▲3.0	+2.2	▲0.0	▲3.8	+6.6	+2.8	+6.5	+2.3	▲0.2
欧州	ダウ欧州50	3073.63	+16.9	▲1.4	▲3.0	+2.6	▲0.9	▲1.7	+4.2	+3.5	+3.4	+1.7	+0.1
スウェーデン	ストックホルムOMX	833.86	+21.0	▲2.4	<b>▲3.8</b>	+3.8	+0.1	▲2.7	+5.7	+3.8	+5.0	+0.7	▲0.0
ポーランド	ワルシャワWIG	30917.73	+29.1	+4.4	+1.2	+8.9	▲3.6	▲5.3	+3.6	+5.9	+7.5	▲0.6	▲0.6
ロシア	R T	873.01	+54.9	<b>+18.3</b>	+2.4	+12.4	▲6.6	+0.2	+0.6	+4.8	+10.3	+0.3	<b>+5.8</b>
メキシコ	ボルサ	14444.84	+41.6	+2.7	▲1.6	+5.3	▲8.1	▲2.8	+5.2	+4.0	+6.8	+1.5	+0.0
ブラジル	ボベスバ	27094.61	+20.0	+9.0	+1.7	<b>+15.6</b>	▲5.4	▲6.6	+1.5	▲0.6	+4.0	+1.6	▲1.1
アルゼンチン	メルバル	1564.76	<b>+66.4</b>	+5.8	<b>+4.6</b>	+13.5	<b>▲10.2</b>	▲3.7	+10.2	<b>▲8.0</b>	+10.3	<b>▲2.5</b>	+1.1
NZ	ニュージーランドSX50	3332.97	+21.6	▲0.5	▲0.7	+4.3	▲5.3	▲1.9	+1.7	+7.0	+3.5	▲0.3	+0.5
オーストラリア	A S 200	4452.50	+26.3	+1.6	▲0.2	+1.6	▲1.5	▲3.1	+3.1	+4.2	+2.6	+2.1	▲0.2
香港	ハンセン	14982.89	+17.2	+1.4	▲0.4	+3.5	▲4.8	<b>+2.9</b>	▲0.3	+2.4	+4.8	+2.7	▲2.7
韓国	総合	1086.55	+34.1	▲0.4	▲0.3	+8.4	▲4.5	▲5.6	+6.5	+3.9	+10.2	+3.8	<b>▲3.6</b>
台湾	加権	6136.55	+5.6	<b>▲3.6</b>	▲0.4	+3.6	▲3.3	▲3.1	+3.3	+3.8	+1.1	▲1.5	▲3.0
シンガポール	S T	2286.55	+19.1	▲1.5	+0.0	+1.1	+1.0	▲0.8	+1.7	+2.4	+6.3	▲1.5	▲0.7
タイ	S E T	695.89	+12.8	+5.9	+2.2	+5.6	▲8.1	▲3.3	+1.3	+1.2	+0.0	▲0.6	▲0.2
インド	ムンバイSENSEX30	7680.22	+49.6	+1.7	▲1.3	+2.4	▲3.3	▲5.2	+9.1	<b>+7.1</b>	+6.1	+0.2	+0.2
中国	上海A	1231.76	<b>▲12.0</b>	+9.2	+1.9	+9.6	▲9.6	▲1.9	<b>▲8.5</b>	+2.0	+0.3	+3.5	▲1.5

(注) 「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは株価の上昇を示す。  
 「過去の動き」は当該期間の変化率(例: 4週間前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。  
 直近値以外の単位は%。  
 網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)株価、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)株価を示す。



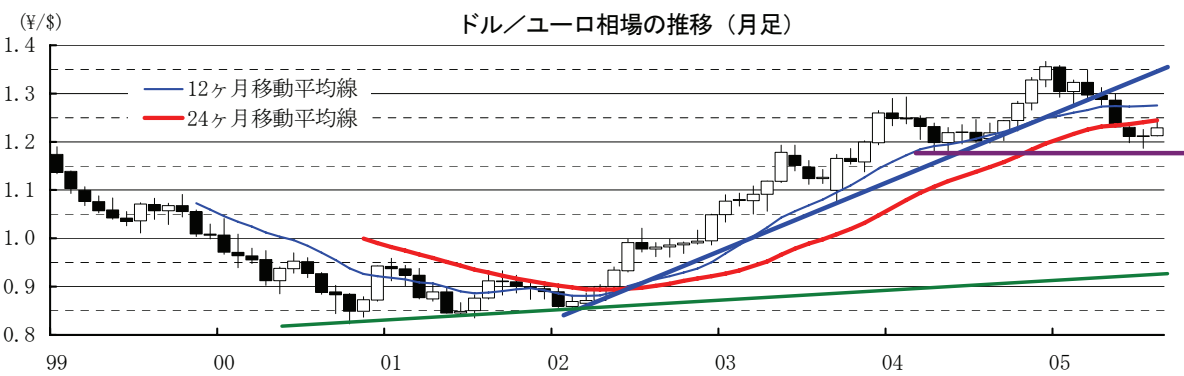
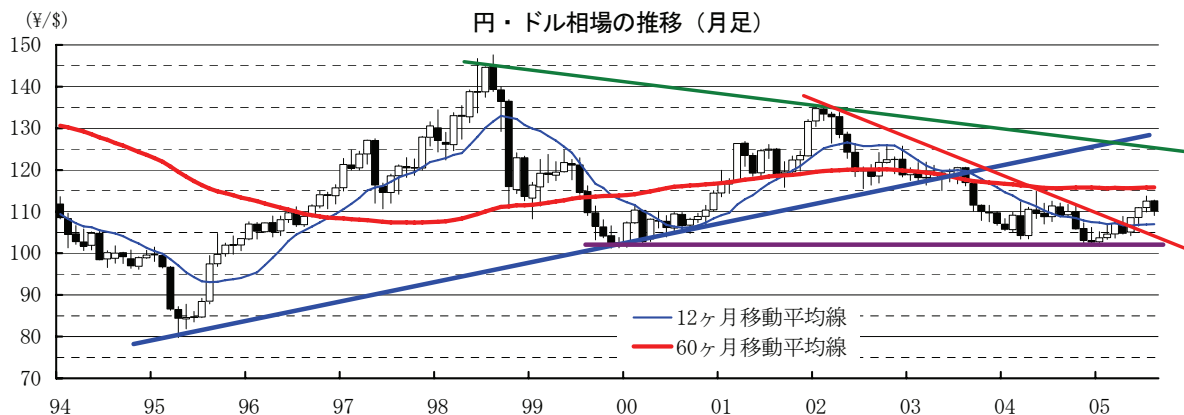
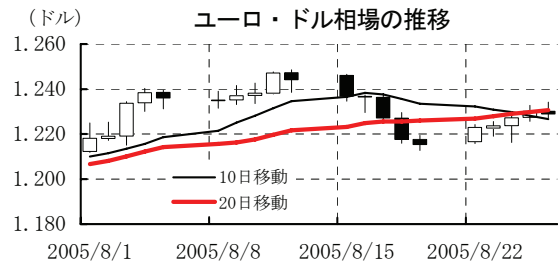
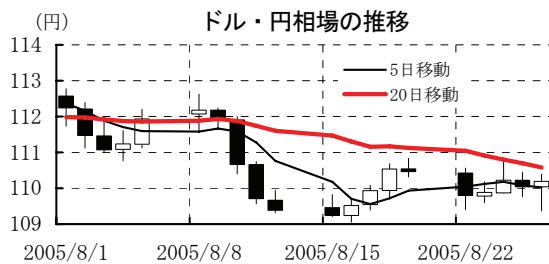
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



[為替]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
		1年前～	1月前～	前週末～	月間						週間	
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間	2週間
日本円	110.19	▲0.5	+2.1	+0.2	▲0.9	▲2.4	<b>+2.2</b>	▲3.6	▲2.2	▲1.4	+2.3	▲1.0
ユーロ	1.2289	+1.5	+2.3	+1.1	+1.5	▲2.0	▲0.7	▲4.4	▲1.6	+0.1	+0.7	▲2.3
イギリスポンド	1.8002	+0.2	<b>+3.6</b>	+0.3	+2.0	▲1.6	+1.0	▲4.8	▲1.4	▲1.9	+2.0	▲1.1
スイスフラン	1.2588	+1.1	+3.1	+1.3	<b>+2.2</b>	<b>▲2.9</b>	+0.1	▲4.5	▲2.7	▲0.6	+1.2	▲2.3
スウェーデンクローナ	7.596	▲0.2	+3.5	+1.5	<b>▲5.0</b>	+2.0	▲3.3	▲5.2	<b>▲5.0</b>	+0.5	+1.1	▲3.1
ポーランドズロチ	3.306	+9.9	+3.2	+0.6	▲3.5	<b>+5.7</b>	<b>▲7.5</b>	<b>▲7.2</b>	+1.4	▲0.6	+1.1	▲2.2
ロシアルーブル	28.435	+2.7	+1.1	+0.6	▲1.0	+1.2	▲0.7	▲1.3	▲1.4	+0.0	+0.4	▲1.1
カナダドル	1.1998	+8.2	+2.4	+0.9	+0.5	+1.9	▲4.0	+0.3	+2.4	+0.1	+1.6	▲1.2
メキシコペソ	10.848	+4.6	▲1.5	▲0.7	▲0.5	+0.9	▲0.7	+2.6	+1.2	<b>+1.4</b>	▲0.3	▲1.2
ブラジルリアル	2.403	<b>+18.7</b>	+1.2	<b>+1.9</b>	+1.6	+0.4	▲3.2	<b>+10.2</b>	<b>+3.1</b>	▲2.0	<b>▲2.6</b>	<b>▲3.2</b>
アルゼンチンペソ	2.909	+2.7	▲1.7	▲0.1	+1.7	▲0.5	+0.7	+1.2	▲0.2	+0.9	▲0.6	▲0.8
NZドル	0.696	+7.3	+2.0	+0.2	▲1.0	+2.3	▲2.1	▲1.0	▲1.0	<b>▲2.4</b>	<b>+2.6</b>	▲1.9
オーストラリアドル	0.7561	+7.5	▲0.2	+0.6	+2.1	▲2.4	+1.1	▲3.3	+0.9	▲0.8	+0.5	▲2.7
韓国ウォン	1028.70	+11.1	+0.1	▲0.3	+0.9	+2.1	▲0.9	+0.5	▲2.6	+0.7	▲0.3	▲1.1
台湾ドル	32.310	+5.2	▲1.1	▲0.4	▲0.4	+2.1	▲1.4	+0.5	▲0.8	▲0.7	▲0.0	▲0.9
シンガポールドル	1.6741	+2.3	▲0.3	▲0.2	+1.0	▲1.8	+0.8	▲1.8	▲1.1	+1.3	+0.1	▲1.2
タイバーツ	41.04	+1.5	+1.3	+0.5	+0.8	▲2.3	▲0.8	▲3.0	▲1.7	▲0.8	+0.7	▲1.0
インドネシアルピア	10385	<b>▲11.9</b>	<b>▲5.7</b>	<b>▲4.0</b>	+1.7	▲0.8	▲2.5	▲0.5	▲2.5	▲0.5	▲0.4	▲2.0
インドルピー	43.70	+5.7	▲0.5	▲0.3	▲0.3	▲0.1	+0.1	+0.1	+0.5	+0.0	▲0.1	<b>▲0.1</b>

(注) 為替レートは全て対ドルレート。ただし、ユーロ、豪ドル、NZドルは当該通貨から見たドル建て。  
 「変化率」は、直近値までの変化率。すべてプラスは当該通貨の増価を示す。  
 「過去の動き」は当該期間の変化率(例：4週前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。  
 直近値以外の単位は%。  
 網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)通貨、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)通貨を示す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[商品]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
		1年前～	1月～	前週末～	月間					週間		
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週前	2週前
WT I	66.13	+53.4	+11.7	+1.2	+7.4	+7.1	<b>▲10.3</b>	+4.5	+8.7	+7.2	<b>+7.3</b>	<b>▲2.3</b>
北海ブレント	64.87	+60.8	+11.8	+0.8	+9.0	+8.4	<b>▲5.9</b>	<b>▲0.7</b>	+9.6	+6.8	+2.7	+2.6
ドバイ	59.07	<b>+61.2</b>	+13.7	<b>+4.5</b>	+11.7	+7.3	<b>▲0.4</b>	<b>▲2.3</b>	<b>+17.4</b>	+4.1	+5.8	<b>▲3.1</b>
OPECバスケット	59.75	+47.7	<b>+14.7</b>	+3.9	+13.0	<b>+8.6</b>	<b>▲4.6</b>	<b>▲0.6</b>	+9.3	+4.2	+0.4	<b>+4.1</b>
金 (NY)	437.4	+7.4	+3.3	+0.0	+3.7	<b>▲2.0</b>	+1.7	<b>▲4.5</b>	+5.0	<b>▲1.6</b>	+2.0	<b>▲2.0</b>
銅 (NY)	176.95	+41.4	+6.2	+3.0	+2.5	+0.7	<b>▲1.2</b>	+0.8	+3.2	+8.6	+2.9	<b>▲1.1</b>
アルミ (NY)	87.25	+7.3	+3.4	<b>▲0.2</b>	+2.9	+2.2	<b>▲8.9</b>	<b>▲5.2</b>	<b>▲2.4</b>	+8.1	+2.3	<b>▲1.5</b>
小麦 (シカゴ)	312.25	+2.1	<b>▲4.9</b>	<b>▲4.0</b>	+15.9	<b>▲1.9</b>	<b>▲3.9</b>	+4.3	<b>▲3.1</b>	+1.9	+0.4	+1.2
大豆 (シカゴ)	183.70	<b>▲1.1</b>	<b>▲13.9</b>	<b>▲1.7</b>	<b>+19.0</b>	+2.2	<b>+4.0</b>	<b>+10.4</b>	<b>▲3.6</b>	+2.6	<b>▲4.1</b>	<b>▲7.6</b>
コーン (シカゴ)	203.75	<b>▲9.5</b>	<b>▲13.0</b>	<b>▲3.1</b>	+8.9	<b>▲0.7</b>	<b>▲3.9</b>	+8.4	<b>▲4.4</b>	<b>+11.4</b>	<b>▲1.2</b>	<b>▲3.4</b>
CRB	317.10	+16.8	+3.6	+0.6	+7.1	+2.8	<b>▲3.1</b>	<b>▲1.0</b>	<b>▲0.3</b>	+4.0	+2.0	<b>▲2.4</b>
JOC	113.41	<b>▲3.6</b>	+5.2	+0.9	+4.2	+1.1	<b>▲2.9</b>	<b>▲2.8</b>	<b>▲1.4</b>	+0.2	+0.3	+1.3
日経商品指数 (17種)	108.66	+3.4	+0.5	+0.6	<b>+2.0</b>	+0.2	<b>▲0.9</b>	<b>▲0.0</b>	+0.6	+1.2	<b>▲0.3</b>	<b>▲0.5</b>
日経商品指数 (国際)	105.40	+24.6	+4.3	+1.9	+8.8	+4.5	<b>▲0.4</b>	<b>▲3.2</b>	+3.1	+4.5	+2.1	<b>▲1.8</b>

(注) 「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは商品価格の上昇を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化率(例：4週前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。

直近値以外の単位は%。

OPECバスケット、日経商品指数(国際)は木曜日、日経商品指数(17種)は水曜日の値。

網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)商品、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)商品を示す。

